

令和 6 年度
閱 覧 設 計 書

工 事 名	道路整備（交付金）工事（片泊R6-1工区）
工 事 箇 所	鹿児島郡三島村黒島地内
河 川 ・ 路 線 名 地 区 名	片泊大里港線
工 期	285 日間 限り

【 閱 覧 設 計 書 内 訳 】

内 訳	添付の有無
特記仕様書	○
図面	○
設計内訳（金抜） ※	○
工事費内訳書	○

※は参考資料である。

◎本閲覧における問い合わせについては、下記担当係へお願いします。

担 当 係

道路建設第二係

【留意事項】

従来の「閲覧設計図」の名称を廃止し、「実施設計図」を閲覧設計書に添付しています。

○鹿児島県 土木部

照合確認

電子
閲覧



特記仕様書

工事名：道路整備（交付金）工事（片泊R6-1工区）

工事場所：片泊大里港線 鹿児島郡三島村黒島地内

第1条 準拠図書

本工事は本特記仕様書，契約書，設計図書によることとし，特に定めのない事項については，下記のとおりによるものである。

- (1) 土木工事共通仕様書 (鹿児島県土木部・令和6年4月)
- (2) 土木工事施工管理基準 (鹿児島県土木部・令和4年1月)
- (3) 土木請負工事必携 (鹿児島県土木部・平成28年4月)
- (4) 工事関係書類の様式の統一化 (鹿児島県土木部長通知)
- (5) 道路事業の手引きなどの各主務課で発行したもの (鹿児島県土木部長)
- (6) その他関係法令規則等

なお，これらに記載されていない事項で疑義が生じた場合は，監督職員と協議し，かつその指示に従うこと。

第2条 施工条件明示

次の施工条件明示によるものとする。

施工条件明示（特記すべき事項）

明示事項	明示内容	出典	頁	該当項目	
基本事項	概算数量発注	→概算数量発注方式により積算→工期設定	共通仕様書 11-7-1-14	11-73	—
		→設計金額2,500万円未満→標準工期+15日付与			—
		→設計金額2,500万円以上→標準工期+30日付与			—
	契約保証金	・契約の保証は、当初請負金額が500万円を超える場合、請負金額の10分1以上の金銭的保証を要す。	契約書 第4条	—	○
	前払金	・前払金を40%の範囲内で支払うことができる。	契約書 第35条	—	○
		→本工事（ゼロ県債）事業については、令和○年○月○日以降に請求することができる。			○
		・中間前払金を請求することができる。			○
	部分払い	・部分払いの請求は2回以内で、前金払がある場合でも2回とする。ただし、中間前払金があるときは、部分払いは行わない。	契約書 第38条	—	○
	契約工期	・契約工期は、285日間を予定している。	共通仕様書 11-7-1-21	11-77	○
		→繰越予定工事→繰越承認後の工期は○○日間を予定している。			—
	余裕期間	→余裕期間設定契制度の対象工事	共通仕様書 11-7-1-30	11-82	—
		→120日、令和○年○月○日まで			—
	週休2日（試行）	・「週休2日」試行工事	共通仕様書 11-7-2-9	11-86	○
	請負代金内訳書及び工事費構成書	→請負金額1億円以上かつ工期が6ヶ月を超える工事	共通仕様書 3-1-1-1	3-1	—
	品質証明	→予定価格1億円以上で対象工事	共通仕様書 3-1-1-6	3-5	—
	監理技術者等の途中交代	・技術者の途中交代	共通仕様書 11-7-1-3	11-69	○
	監理技術者等の専任を要しない期間	・請負金額4,000万円以上の工事	共通仕様書 11-7-1-4	11-70	○
	現場代理人常駐	・現場代理人の常駐を要しない場合の明確化	共通仕様書 11-7-1-5	11-70	○
	現場代理人兼任（試行）	・現場代理人の兼任に関する運用の試行 兼任可能3件、80,000千円未満など	共通仕様書 11-7-1-19	11-74	○
	特例管理技術者の配置	→下請合計金額4,500万円以上で、監理技術者の兼任を認めない工事	共通仕様書 11-7-1-18	11-74	—
・下請合計金額4,500万円以上で、監理技術者の兼任を認める工事		○			
中間検査	・本工事は、中間検査を実施する工事（当初設計金額3,000万円以上）	共通仕様書 3-1-1-8 11-7-1-17	3-5 11-73	○	
	→本工事は、中間検査を実施しない工事（浚渫、寄洲除去など）			—	
	→（令和6年7月24日通知参照）			—	
施工体制台帳 施工体系図	・施工体制台帳及び施工体系図等の取り扱い	共通仕様書 1-1-1-10	1-8	○	
		11-7-1-	11-71		
法定外の労災保険付与	・「土木工事標準積算基準書」を適用する全ての工事	共通仕様書 1-1-1-42	1-31	○	
熱中症対策	・熱中症対策に資する現場管理費の補正対象工事	共通仕様書 11-7-1-13	11-73	○	
時間的制約を受ける工事	・時間的制約を受ける公共土木工事の積算 ①工事全体で制約 ②現道土の工種で制約 ③積算しない	共通仕様書 11-7-1-15	11-73	—	
				—	
				—	
				—	
施工箇所点在	→施工箇所が点在する工事の積算方法	共通仕様書 11-7-1-24	11-78	—	
	→「○○地区、○○地区、○○地区」				
	→一般管理費等の算出率は「○○地区」で設定				
現場環境改善 （イメージアップ）	・現場環境改善の適用工事 ※港湾・漁港工事は、第3条 その他に記載事項あり	共通仕様書 11-7-1-20	11-75	○	

施工条件明示（特記すべき事項）

明示事項	明示内容	出典	頁	該当項目	
（基本事項）	CCUS	・建設キャリアアップシステム活用工事	共通仕様書 11-7-1-11	11-72	○
	地域外労働者確保	・地域外からの労働者確保に要する設計変更の試行について 三島村（全域）、十島村（全域）、口永良部島、加計呂麻島、与路島、請島の工事	共通仕様書 11-7-1-31	11-82	○
	国土調査の基準点	・国土調査の基準点等測量標識等の保全	共通仕様書 11-7-2-1	11-83	○
	電子納品	・電子納品ガイドライン対象工事	共通仕様書 11-7-1-1	11-69	○
	県産資材の優先使用	・県産資材の優先使用	共通仕様書 11-7-1-7	11-70	○
	下請工事管内優先活用	・下請工事における管内（県内）建設業者の優先活用	共通仕様書 11-7-1-8	11-71	○
	快適トイレ	・建設現場における「快適トイレ」設置試行対象工事	共通仕様書 11-7-1-12	11-72	○
	三者技術調整会	→本工事は、三者技術調整会を開催する工事 ・本工事は、三者技術調整会を開催を予定していない工事	共通仕様書 11-7-1-23	11-77	— ○
	危機事象時緊急連絡先	・土木工事等において危機事象が発生した場合の対応 地域振興局名： 鹿児島地域振興局建設部土木建築課 緊急連絡先： 080-5245-0551（公用携帯）	特記事項	—	○
	暴力団不当介入	・暴力団関係者による不当介入を受けた場合の措置	共通仕様書 11-7-1-2	11-69	○
環境改善 （工事編）	・「環境改善実施要領（工事編）」に基づき、受発注者相互に協力し取り組む。	共通仕様書 1-1-1-45	11-31	○	

施工条件明示（特記すべき事項）

	明示事項	明示内容	出典	頁	該当項目
工程 関係	河川区域制約	→令和○年○月○日までは、出水期であるため着手できない。→	特記事項	-	-
	占用物件など	→令和○年○月○日までに、N T T電柱移設が完了予定である。 →本工事を受注後、速やかに関係者立会いによる移設協議を実施予定であ る。	特記事項	-	-
	部分引き渡し	→令和○年○月○日に○○○○部分を引渡しを行う。	特記事項	-	-
	作業不能日数	→本工事の工期は、波浪等により作業不能日数を○○日見込む。	特記事項	-	-
	他工区との調整	→先行している工事の工期は、令和3年12月○○日完成を予定しており、着 手は、令和4年1月○日から着手となる。	特記事項	-	-
用地 関係	補償物件	→一部の用地については、現在移転中であり、令和3年○月までに移転完 了予定である。	特記事項	-	-
	工作物	→No.○○～No.○○までの区間は、農作物の収穫が終わる令和3年○月○日頃 まで着工してはならない。	特記事項	-	-
	仮設ヤード	→本工事における○○の製作に当たっては、仮設ヤードとして下記を考慮。 諸条件により難しい場合は、別途協議する。 （1）場 所： （2）期 間： （3）復旧条件：	特記事項	-	-
公害 関係	公害防止	→本工事の仮締切りの鋼矢板の施工については、油圧式高周波型パイプロハ ンマによる打込み、電動式パイプロハンマによる引抜きを計画している。な お、現地の状況（土質、地質、周辺環境等）により、これによりがたい場合 は、別途監督職員と協議するものとする。	特記事項	-	-
	水替・流入防止対策	→本工事における○○王については、○○による水替を○○日間（常時）を 計画しているが、これによりがたい場合は、別途協議する。	特記事項	-	-

施工条件明示（特記すべき事項）

明示事項	明示内容				出典	頁	該当項目
ICT活用工事 ※第3条 その他に記載 事項あり	・発注者指定型（土工）10,000m ³ 以上				試行要領	-	-
	・受注者希望型（土工）						-
	・受注者希望型（作業土工（床掘））						○
	・受注者希望型（土工（1,000m ³ 未満））						○
	・受注者希望型（小規模土工）						○
	・受注者希望型（法面工）						○
	・受注者希望型（舗装工）						-
	・受注者希望型（舗装工（修繕工））						-
	・受注者希望型（付帯構造物設置工）						○
	・受注者希望型（地盤改良工）						-
	・受注者希望型（河川浚渫工）						-
	・受注者希望型（構造物工（橋台・橋脚））						-
	・受注者希望型（構造物工（橋梁上部工））						-
	・受注者希望型（基礎工）						-
	・受注者希望型（擁壁工）						-
・受注者希望型（コンクリート堰堤工）				-			
コンクリート工	・コンクリートは、JISA5308に規定するレディーミクストコンクリートとし、品質については、下記のとおりとする。				特記事項	-	○
	呼び強度	スランプ	空気量	粗骨材最大粒径			
	18, 24	8cm	4.50%	40mm			
	使用工種	水セメント比	セメントの種類	その他			
	張つ割土工、コンクリート床板工		高炉B				
スランプ	・鉄筋コンクリート構造物等のスランプ値について				共通仕様書 11-7-2-10	11-86	-
シラスコンクリート2次製品	・シラスコンクリート間知ブロック、・シラスコンクリート大型積ブロック、・シラスコンクリート歩車道境界ブロック（B型）、・シラスコンクリート落蓋U型溝及び蓋版（縦断用）、・シラスコンクリート落蓋U型溝（横断用）、・シラスブロック（平板型）・（地域自然石型）、・かぶせ蓋式U型側溝及び蓋版（道路用・水路用）				共通仕様書 11-7-2-6	11-85	-
交通誘導警備員	→現道工事等における交通誘導警備員の資格要件の条件明示				共通仕様書 11-7-1-22	11-77	-
	→交通誘導警備員業務検定合格警備員の配置が必要と定めた路線（認定路線）						-
工事用道路関係	→盛土材の運搬経路は、土取場→主要県道○○○線→市道○○線→現場とし、他の経路は通行してはならない。				特記事項	-	-
	→○道○○号は、○○市との協議の結果、○○t以上の工事車両は通行してはならない。				特記事項	-	-
	・本工事施工に伴う工事用車両進入路のうち、粉じん防止のため1日数回程度の散水を行うとともに、路面維持に努めること。				特記事項	-	○
仮設道路関係	→仮設道路については、別添資料のとおり、幅員W= m、延長L= mで計画している。これにより難い場合は、別途協議するものとする。				特記事項	-	-
工事標示施設	→通常看板「道路工事現場における表示施設等の設置基準」				特記事項	-	-
	・「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」追加看板 対策名「国土強靱化対策工事（5か年加速化対策）」						○
仮設備関係	→本工事の施工のために必要な迂回路に仮設する仮橋の構造は、別添図面とおりとし、存置期間は、令和○年○月○日とする。				共通仕様書 11-7-1-29	11-81	-
	→本工事で設置した足場は、引き続き発注される○○工事（令和○年○月発注予定）及び○○○工事（令和○年○月発注予定）に使用する予定があるので、工事完了後も存置するものとする。						-

施工条件明示（特記すべき事項）

明示事項	明示内容			出典		該当項目	
				頁			
（工事関係）	ヤンバルトサカヤスデ	・ヤンバルトサカヤスデのまん延防止対策について (対象市町村については鹿児島県ホームページにて最新版を確認のこと。)			共通仕様書 11-7-2-3	11-84	○
	過積載防止	・建設工事における過積載防止の徹底について			共通仕様書 11-7-2-2	11-83	○
	遠隔臨場（試行）	・公共工事等における遠隔臨場の試行工事			共通仕様書 11-7-1-16	11-73	○
	鳥インフルエンザ	・高病原性鳥インフルエンザ対策の徹底について			共通仕様書 11-7-2-7	11-85	—
建設副産物	再資源利用計画の掲示（搬入工事）	・土砂500m ³ 以上、コンクリート、鉄筋コンクリート、アスファルトコンクリート、砕石を利用する工事			特記事項	—	○
	再資源利用促進計画の掲示（搬出工事）	・コンクリート塊、木材、アスファルトコンクリート塊、建設発生土（第一種～第四種）、浚渫土以外の泥土、浚渫土などを搬出する工事				—	○
	建設発生土の処理	建設発生土は、下記の場所に搬出すること。 受入れ場所：三島村村有地 処分場名： 運搬距離：1 km 受注者は村有地への土砂搬出に先出し、土地管理者である三島村経済課へと協議を行い相互同意の上で土砂の搬出・安置を行うこと、また土砂流出防止対策を策定し、施工計画書に含めて監督職員に提出すること。			共通仕様書 11-7-1-26	11-80	○
建設リサイクル法 ①分別解体等の方法	工程	作業内容	分別解体等の方法（※）		共通仕様書 11-7-1-25	11-78	○
	①仮設	仮設工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用				
	②土工	土工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用				
	③基礎工事	基礎工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用				
	④本体構造	本体構造の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用				
	⑤本体付属物	本体付属物の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用				
	※「分別解体等の方法」の欄については、該当がない場合は、記載の必要はない。						
②再資源化等をする施設の名称及び所在地	特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地				
再生資源の利用	資材名	規格	備考 (使用箇所)	共通仕様書 11-7-1-25	11-78	—	
	再生加熱アスファルト混合物	A s量 ▲%密粒再生					
	再生切込砕石（かごしま認定リサイクル製品）						
建設発生土の利用	→○○に使用する土は○○工事の建設発生土を利用するものとする。			共通仕様書 11-7-1-26	11-80	—	
建設副産物の搬出 ①指定副産物	廃棄物の種類	施設の名称	所在地	運搬距離	共通仕様書 11-7-1-25	11-78	○
	コンクリート						
	アスファルト	再生建設 サテライトセンター	鹿児島市本港新町	L=3.0km（鹿児島港からの距離）			
	木くず						
②一般廃棄物	刈草・剪定枝葉						

施工条件明示（特記すべき事項）

明示事項	明示内容				出典	頁	該当項目	
（建設副産物）	建設汚泥の再生利用 ①処理概要	中間処理の場所	中間処理の方法	再生品の品質	利用用途	共通仕様書 11-7-1-25	11-78	—
	②「建設汚泥処理土の品質区分基準」	品質区分基準	指標等		試験回数	共通仕様書 11-7-1-25	11-78	/
		品質基準	コーン指数					
		生活環境保全上の基準	土壌環境基準（環境基本法）					
			特定有害物質の含有量基準（土壌汚染対策法）					
	建設汚泥の搬出 ①施設の名称及び所在地	廃棄物の種類	施設の名称	所在地	運搬距離	共通仕様書 11-7-1-25	11-78	/
	②受入時間	〇〇処分場：〇〇時〇〇分～〇〇時〇〇分						
		モヨパークかごしま：〇〇時〇〇分～〇〇時〇〇分						
	③その他 仮置き等必要条件							
	舗装切断作業時に発生する排水の処理	舗装切断作業時に発生する排水の処理について				共通仕様書 11-7-1-28	11-81	—
根株、伐採木等の利用 発生工事 利用工事	保管場所：〇〇市〇〇町〇〇地内				共通仕様書 11-7-1-27	11-81	—	
	→〇〇市〇〇町〇〇地内に保管している、根株・伐採木を法面王の基盤材として、発注者から引き受けることとする。						—	
その他	関係機関との協議	・本工事に先立ち、三島村に地下埋設物の有無を確認すること。			共通仕様書 1-1-1-37 11-7-2-5	1-28 11-85	○	
	施工体制点業務への協力	→本工事の施工体制点検業務を委託している「施工体制調査員」が工事現場に点検を実施する。			共通仕様書 11-7-2-4	11-85	—	
	路上工事の縮減	・路上工事縮減に関する行動計画 ※鹿児島県域路上工事縮減対策協議会HP参照 ①ゴールデンウィーク・お盆・年末年始 ②交通への影響が大きい期間（祭り、イベント等） ③年度末（抑制期間）			特記事項	—	○ ○ ○ ○	
	漁協権者との調整	→工事着手前に、内水面漁業権者と王法、施工時期、水質汚濁防止の方法等について協議し、河川工事の理解と協力を得ること。また、その結果について工事打合簿により報告すること。			特記事項	—	—	
	工事現場発生品	・在来施設の撤去により生じた現場発生品は、当該工事に使用するものとし、残量については、下記の場所まで運搬のうえ引渡すものとする。			共通仕様書 1-1-1-18	1-12	—	
		現場発生品名	引渡場所				/	
	支給材料及び貸与品	・本工事における支給品は、下記のとおりとする。				共通仕様書 1-1-1-17	1-11	○
		支給品名	規格	数量・単位	支給場所			
		ガードレール基礎	長さ 約2m 重さ 780kg/個	40個	現地			/
	部分使用	→本工事については、工事引き渡し前に工事請負契約書第33条により下記について部分使用する場合がある。その際は、受注者の承諾を得るものとする （1）部分使用範囲： （2）目的： （3）部分使用期間：本			契約書 第34条	—	—	

第3条 その他

1 (契約数量)

この工事の契約数量は、設計図書及び数量総括表のとおりとする。この数量に変更を生じた場合は、発注者及び受注者協議の上、契約変更の対象とする。
ただし、出来形等に係る設計値は図面及び構造物調書のとおりとする。

2 (出来形確認)

受注者が工事の完成を通知するまでの間において、現場代理人又は主任技術者等の立会いのもと、最終出来形確認を実施するものとする。

3 (長期休暇期間の連絡体制等)

工事の期間が年末年始、長期連休期間、盆休み、その他長期休暇中に係る場合は、事前にその期間の管理体制、緊急連絡体制について記した書類を提出すること。
また、警報発令等の悪天候後は、現場巡回を行い、結果を連絡すること。

4 (検査等に合格した場合における瑕疵担保の取扱い)

検査(中間検査、完成検査及び出来形検査)、段階確認、落橋防止装置等を対象とした抜き打ち非破壊試験検査に合格しても、後に施工不良等が判明した場合に受注者の瑕疵担保責任が免責されるものではない。

5 (ICT活用工事理由書)

- (1) ICT活用工事による施工を希望しない場合は、今後のICT活用工事の普及の参考とするため、「ICT活用工事を希望しない(できない)理由書」を記入し、電子(エクセル)データにて監督員に提出すること。
- (2) 前項の「理由書」は、鹿児島県鹿児島地域振興局建設部のホームページから取得できる。

6 (産業廃棄物税)

本工事により発生する建設廃棄物のうち、焼却施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物には、産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。

7 (支障物件)

着工前測量により嵩上げ切り下げ等が必要なマンホール等については、調査を行い速やかに監督職員へ報告すること。

8 (各種様式及び要領等)

本特記仕様書内の各種様式及び実施要領等について、詳細を記載していないものは、鹿児島県ホームページ(>分類から探す>社会基盤>公共事業>技術管理・検査)から取得できる。

9 (工事履行報告書)

毎月25日までに、月末時点における工事履行報告書及び工事進捗状況写真(全景又は代表部分)を監督職員へ提出すること。

- 10 (熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行について)
- (1) 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行対象工事である。
 - (2) 試行にあたっては、「熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行について」(令和6年3月14日付け技術管理室長通知)に基づき行うものとする。
 - (3) 「熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行について」(令和6年3月14日付け技術管理室長通知)は、鹿児島県ホームページから取得できる。
- 11 (工事関係書類簡素化について)
- 工事書類の縮減・簡素化を図るため、「工事関係書類簡素化の手引き」(鹿児島県土木部管理課技術管理室 令和6年5月)を参考に書類作成を行うこと。
- 12 その他
- 三島村黒島の建設工事においては、島内には工事に従事する労働者が確保できないことから、地域外からの労働者を確保する必要がある。
- 本設計においては、地域外からの労働者確保に要する費用について、令和2年6月技術管理室通知「労働者確保に要する間接費の設計変更マニュアル」を参考に、当初設計より、昨年度工事の設計変更を参考に計上している。
- なお、当該費用の設計変更については、建設工事請負契約書、設計変更ガイドライン、労働者確保に要する間接費の設計変更マニュアルに基づき、受発注者協議しながら適切に対応する。